# 職鑛スクラム組んで 賃鬪に盛りあがる鬪志

## 寒風を衝き一万五千のピストン・デモ

賃闘の本格的火蓋が切られた廿八日、三池では三番方あがりによる暁の〃お早うデモ〃を皮切りに午後は一番、常一番あがりが各方一時間五十分の時限ストを利用して陸続と本社にピストンデモをかけこれに炭婦協も加わり総動員数一万五千（内炭婦協一千名）先次企闘の時にも劣らぬ旺んな盛り上がりを示した。特に今度は職組もこれまでに見ない強い起ちあがりを見せ、職員と鑛員と仲好くガッチリとスクラムを組んでのデモは組織初まつて以来のことであり感動的な場面を顕現した。

### お早うデモで火蓋を切る

三番方あがりによる〃お早うデモ〃は宮浦が約六〇〇名、松沢鉱長宅に、四山八〇〇名安田鉱長宅、三川一・一〇〇名は六隊に分れ池田副長宅、港務四〇〇は平賀所長宅と更に国鉄大牟田駅分会（激励）に夫々暁を衝いてデモをかけ、その総数三千名に達した。

### 賃金上げろ！ 本社前で高唱

一番方あがりのトップを切つたのは宮浦の第一隊約二百名で、以下三川、四山、本所、港務、三作と常一番あがりを除いては夫々数隊に分れ、あとからあとからと本所前にピストン・デモをかける。その間にねんねこで赤チャンをおんぶした炭婦協のデモ隊も単独で、或いは組合員と一緒になつてピツピツ、ワツショイと練り込んで来る。首切り反対闘争以来の壮観である。本社正門前には鉱組菊川副組合長、河野書記長らと共に職組村松組合長、山田事務局長らが寒風に吹きさらされながら詰め切りデモ隊の送迎に大童の活躍をして居る。三鉱闘争史上初めて実現した職鉱の完全共闘である。特に本所のデモ隊は職員の数も一番多く仲好くスクラムを組んでの行進は眼頭があつくなる程の感激だつた実現すべくしてこれまで成らなかつた職鉱共闘が今度こそ完全に実現し、こんな嬉しい事はない。経営者側は米価値上分だけ昇給を認めようと云つて居るがこれは明かに労働者の一方的な犠牲を狙う姦猾な意図に出たもので、産業の再建、民族の独立と云つても労働者の生活安定なしには成立たない。共にスクラムを組んで要求貫徹まで闘おうと村松組合長の挨拶も熱を帯びて居る。かくてデモ隊は正門前で宣言文を精一杯の声で読み上げ〃賃金上げろ〃と高唱して帰途鉱組本部に激励デモをかけ、こゝでも宮川組合長、五島炭婦協会長から感激の挨拶を受けて寒風吹きさらぶ中に頬を紅潮させながら秩序整然と帰路について行つた。

# 會員が目立つて増加

## 歡迎兼ねて大平炭婦協の臨時總會

四山炭婦協大平分会では首切り反対闘争終結後急速に会員が増え、結成当時百名そこそこだつたのが、現在百卅八名に達したので、これら新しく入つた人達の歓迎も兼て十七日午前十時から大平集会所で臨時総会を開催先づ菊川副会長開会の挨拶を述べ、星下会長を議長に役員紹介、経過報告などがあつて後、来賓として四山支部の前川副支部長、四山炭婦協山崎会長、宝台地域分会長らが祝詞を述べ、万歳を三唱して大会を終り、引続き敬老会に移り「あざみ会」の舞踊のほか会員の飛入りもあつて満員の観客席から旺んな拍手が湧き三時過ぎ盛況裡に散会した。

# 子供會を結成

## 大谷社宅の公民館で

大谷社宅に今度子供会が結成された。同社宅の公民館の外郭団体として作られたものだが、地域分会炭婦協も積極的にこれを支援し、去る廿四日午後一時からこれらのほか小、中学校の先生、P・T・A代表などが文教部長の瀬崎さんのお宅に集り、種々意見を交換し子供達を明るく正しく伸ばしてやるよう夫々の立場から努力する事を申合せた。子供会は社宅に住む小、中学生により構成され会員数四一三名、役員は推薦若しくは選挙により左の通り決定を見ている。

| | |
|---|---|
| 会長 | 古賀照男（三中） |
| 〃 | 関八重子（〃） |
| 東分会々長 | 浜口　正暁 |
| 〃 | 前川　厚子 |
| 〃副会長 | 細田　幸男 |
| 〃 | 四方堂和子 |
| 中分会々長 | 北岡　隆夫 |
| 〃 | 松崎　広子 |
| 〃副会長 | 村本　新市 |
| 〃 | 堀　里子 |
| 西分会々長 | 本田　聡久 |
| 〃 | 蓮尾　優子 |
| 〃副会長 | 川上　元久 |
| 〃 | 浜田　絹江 |

子供会幹部と公民館役員

# 徹底した整理整頓

## 本工場の見學團も舌をまく

## 渡瀬工場に輝く無變災記錄

三作渡瀬工場は昨年八月以来一人の怪我人も出さず、六ケ月無変災と云う輝しい成績を舉げて居る。従前何時の保安競争にも持点オーバーで失格と云う状態にくらべて正に面目を一新した。何が一体この好果をもたらせたのか、一日同工場を訪れて見た。

△　△　△

先ず相浦課長に会つて話をきく

何と云つても安全委員の不断の活躍と現場の人達の保安衛生思想の昂まりを舉げなければならないでしよう。これは一朝一夕で成るものではなく、当工場では二年前から特に整理整頓と云う事を厳に実施、それが漸く板について来た、また毎月安全協議会をひらいて気のついた事はどんな小さい事でも話し合つて検討し、そこで決定された事は直ちに実行する、これが何より好かつたと思います。

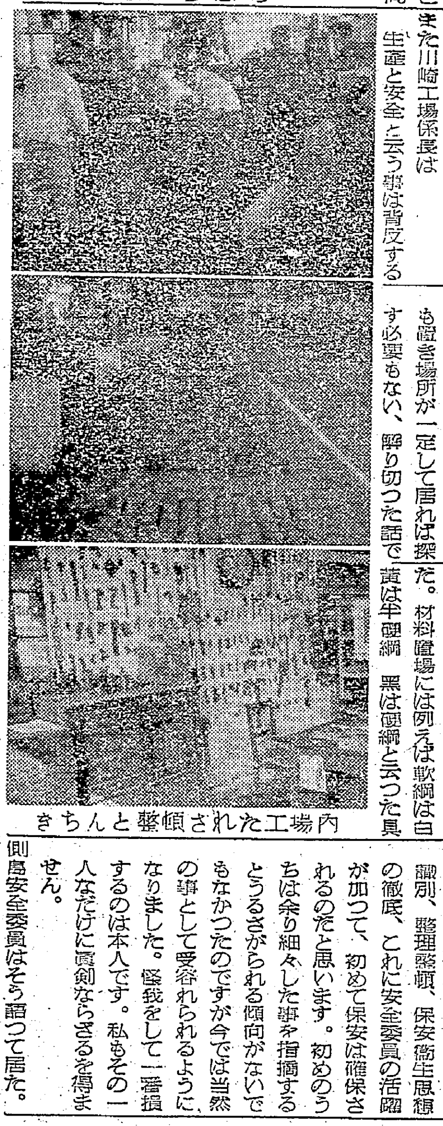
また川崎工場係長は

生産と安全と云う事は背反する要素ではなく、むしろ完全にマッチするものだと云う確信を得ました。例えば職場環境を良くする事によつて事故も防げるし能率もあがる、道具一つにしても置き場所が一定して居れば探す必要もない、解り切つた話ですが然し明日から直ぐ実効があがると云う訳のものではなく、永い間かゝつて習慣化するところまで行かねば駄目です。

さて側島安全委員に案内して頂いて工場見学に取掛る。丁度この日は本工場の安全委員、現場幹部など二百名が四班に分れて見学に来て居たが、一歩足を工場内に入れると塵一つとゞめぬ清掃、整頓ぶりに等しく讃嘆の目をみはる。通路は白線で截然と区切られ、こゝには何一つ置かない事にして居るので目をつむつて居ても通れる程だ。材料置場には例えば軟綱は白、黄は半硬綱、黒は硬綱と云つた具合に切口を色別けした素材がキチンと積まれ、グラインダーには火華除けの安全ガラス、旋盤には切粉よけの金網がしつらえてあり、また機械作業員は腕カバーを穿め下駄ばきは一人も居ないと云つた調子で、更に安全委員がしよつちゆう現場をまわつて事故の原因に成りそうな点は直ちに責任者に指摘して直させるのでこれでは怪我をしたくても出来ないだろう。器具類も一定の置場以外には絶対に置かない様にしてあるので探す手間も省け見た目にも気持ちが好い。

識別、整理整頓、保安衛生思想の徹底、これに安全委員の活躍が加つて、初めて保安は確保されるのだと思います。初めのうちは余り細々した事を指摘するとうるさがられる傾向がないでもなかつたのですが今では当然の事として受容れられるようになりました。怪我をして一番損するのは本人です。私もその一人なだけに真剣ならざるを得ません。

側島安全委員はそう語つて居た。



きちんと整頓された工場内

# 出炭競争は止めよう 遵法も日常化す

## 宮浦で「採炭會」結成

先の企業整備闘争の別産物として宮浦「採炭会」と云うのが出来、請負給者における労働強化の排除ひいては請負給そのものゝ廃止を目指し、各方の採炭全員が結束してこれに当る事となつた。即ち従前採炭の場合出炭競争の悪習があり、昼食も満足にとれないような状態にあり、その結果自ら能率を引上げ自分で自分の首をしめるような結果になると共に保安、保健の見地からしても憂慮されて居たが、たまたま企闘のさなか一時間一齊休憩、遵法闘争が指令、実施された事からこれこそ正しいやり方だと云う事に目覚め、闘争終結後も寄々話合つてこれを恒久化すると共に能率を自ら引上げるような出炭競争は絶対行わないよう規程罰則を作つて実施に移したもので　その内容を見ると遵法作業、休憩時間の完全実施、火薬、発破母線運搬に関する事項と共に「今後三方の出炭競争は絶対行わない事」と謳つて居り、違反者には一回目五百円、二回目千円、三回目二千円をカンパとして徴し、四回繰返した者は除名処分にすると厳重な罰則を定めて居り、請負給者の正しい在り方を示唆するものとして注目される。

# 今週の話題

## 仲好し小好し

### 睦みあう大谷公民館

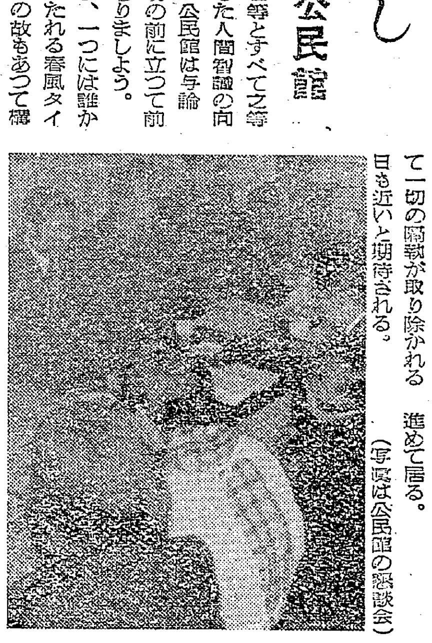
公民館と地域分会乃至は炭婦協、この両者の関係はとかくとも余りしつくりとは行つて居ないようである。甚だしい場合全く対立関係にある向さえあつて悩みの種とされて居るようだが、この一月生れた大谷社宅分館だけは著しく趣きを異にして居る。それもその筈館長の酒田義春氏は就任まで地域分会の婦人対策部長として活躍し、その熱意を買われた人、また婦人部長には大谷炭婦協の副会長家入芳子さんが就任、更に地域分会長の中村人治氏や同役員の森崎展夫氏が審議員のメンバーとして参加するなど地域分会、炭婦協と密接に結びついて全く間然するところがない。しかも他に家族会関係その他を包含し、少しのイザコザも起さず運営されて居ると云うのだから一寸珍しい。

この事を酒田館長は就任挨拶の中で

〃労働者として、市民として、飛躍前進するため私達は個々の持つイデオロギーを唯感情のみで割切る事なくエゴを捨てデモクラシーの下活発なる討議、批判探求、反省等とすべて之等を基盤とした人間智識の向上にあり、公民館は与論要望の一切の前に立つて前進するでありましよう。

と述べて居り、一つには誰からも好感を持たれる春風タイトウたる人柄の故もあつて構成員である同社宅全居住者が一つに融つて実際生活に即する教育、文化、福祉等各種の事業を活発に展開して居る。家族会の人達も公民館の会合とあれば何のこだわりもなく出席して隔意なく炭婦協のま婦達とも話合うと云つた調子なので何れ公民館活動を通じて一切の隔執が取り除かれる日も近いと期待される。

因みに館員数は男一・〇七八名、女一・一七四名、計二・二五二名で、年間行事を綿密に立て、先ず一月は子供会結成期間と定め着々準備を進めて来た結果別項所報の通り実現を見る運びとなり、今後更に文化、教養、体育レクリエーションなどの諸行事計画を進めて居る。



（写真は公民館の懇談会）

# 三菱本店の配轉問題 炭労の圧力で解決

## こゝにも酷薄な經營者根性

三菱鉱業本店で企業整備の一環として去る十一月職員の一割（四〇名）を整理する事とし組合と話合いの上希望退職と云う形で募集を行つた。ところが「本人の自由な意志を尊重する」と云う話合いにもかゝわらず、あらゆる職制を利用して強制的に退職を強要し、最後までこれを拒否して来た元同職組委員長鶴田正夫氏始め七名（内女子組合員四名）に対しては執拗に退職勧告を行い、応じないと見るやこの七名に対して島流し的配置転換を命じて来た。しかもこれが不満なら懲戒解雇だと云うに至つては全く沙汰の限りであり、これに対し本店職組は通常の転勤と見なして何ら解決に乗り出そうとしないので拒否者達が非常な窮地に陥つているのを三鉱連が察知して問題を炭労本部に持ちこんだ、炭労としては初め本店職組をして解決に当らしめるべく転勤命令の取消しを交渉するよう申入れたが一向に要領を得ないので、炭労としてこれが解決に乗出す方針を決め、十二月十四日東京地裁に身分保全の仮処分を申請すると共に都労委に不当労働行為として提訴、「三菱本店対策委員会」を設けて累次団交を行つたが会社は依然頑冥な態度を改めないので

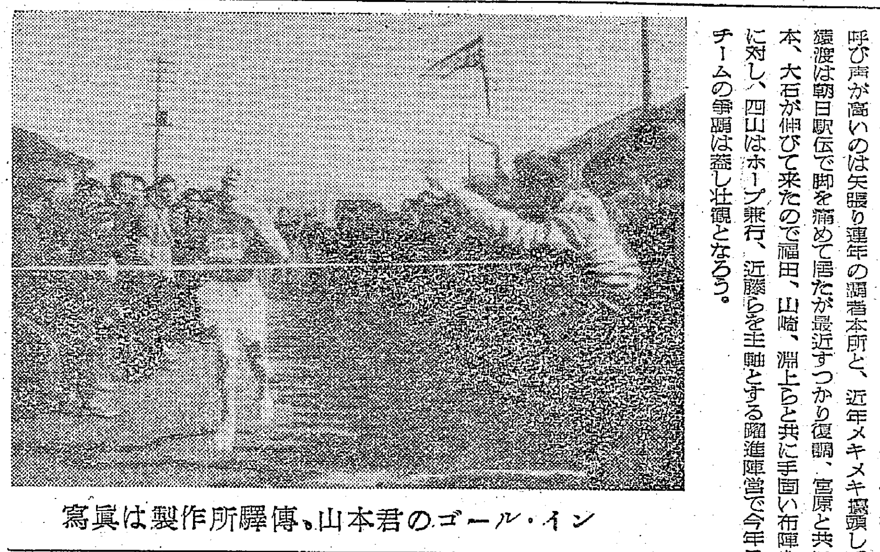
かゝる独占資本の労務政策と断固対決するため、総評傘下友誼団に広く本問題をアッピールしその絶大な支援の下に会社に猛烈な圧力をかけ、また本店組合員に働きかけて下から組合を動かしあくまでも七名の原職復帰を闘い取るとの決意の下にその後鋭意折衝に当つて来た結果、去る二十六日遂に会社側を屈服、転勤命令を撤回せしめたので同日傘下各組合に対し

「三菱本店問題円満解決し、全員復職す。この件の三菱本店経営者側に対する闘争手段を一切中止せよ。尚資金カンパは中止す」以上の如き電文を発し、さしもに視聴をあつめた本問題も急転直下解決を見た。どのような状態で交渉が成立したのか詳細な情報がまだ入つてないので立入つた事は云えないが残る問題として本店職組の在り方に対する厳しい批判は当然予想されるところで今後この問題がどう発展するか〃注目される。

# 成るか四山の制覇

## 實力接近 興味呼ぶ三鉱驛傳

三鉱駅伝は愈々二月廿一日（予定）挙行されるが、各鉱所共これに備えて去る廿四日（宮浦、三川は十七日）予選を兼ねて部内駅伝を挙行、既に選手詮衡を終えて猛練習に入つて居る。優勝の呼び声が高いのは矢張り連年の覇者本所と、近年メキメキ擡頭して来た四山で、本所のベテラン猿渡は朝日駅伝で脚を痛めて居たが最近ずつかり復調、宮原と共に健在を誇つて居るし、新人堀本、大石が伸びて来たので福田、山崎、淵上らと共に手固い布陣をしき連続制覇を期して居るのに対し、四山はホープ兼行、近藤らを主軸とする強力陣営で今年こそはと王座をねらい、この両チームの争覇は蓋し壮観となろう。三位争いは宮浦、製作、三川の間で争われようが、久しい沈滞から起上つて製作が宮浦をマークし、果敢な一戦を挑めばどんな波瀾を呼ぶかフタをあけるまでは予断を許さず、何れにせよ例年にない活気を帯びたレースとなろう。



寫眞は製作所驛傳、山本君のゴール・イン

## 厚生部、炭婦協に希む

毎月十五日、いつもの事ながら各職名毎に並んだオカミさん達の服装等より想像しうる生活環境というものが、一つの規則でもあるかのように同じなのは不思議である。

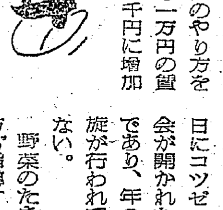
即ちその行列が粗末ながらサッパリした服装で並んでいるのが、比較的低い所得の坑外関係の列であり、余りセンタク晴れのしない（失礼な話だが）服装の列が比較的高い所得に属する行列だからである。

勿論多くの例外はあるが、これらが不幸にして私のヒガメでないとするならばやはり「生活のやり方」の問題に帰着するのではないとか思う。

生活の合理化ということはすでに数年前よりカケ声がかけられているが、その実績は殆ど上つていない。

今厚生部がとり上げている指定店設置の問題も月賦購入の問題も、我々の生活合理化の為、非常に大きな影響をもたらすものであろう、しかしまたそれらのみでは「生活のやり方」自体に変化を加える事は出来ない、指定店も月賦も非常に重要な問題であつてもやはり生活合理化の為には側面的なものであり、指定店、月賦獲得の功績を功績たらしむる為には「生活のやり方」自体に変革をもたらすような恒久的な対策をも今後、より以上の努力をもつて立て、且指導しなければならないだろう。

今の組合員の生活のやり方を極言するならば今の一万円の賃金が実質的に一万五千円に増加しても同じような生活しか出来ず、五千円は殆どムダに使われるのではないだろうか。



賃上げの為にはすべての努力が払わなければならない。

しかし、賃上げを賃上げたらしむるには　同様に「生活のやり方」の変革の為にも払わなければならない。

「生活のやり方」を変える事は簡単な事ではない。ある晴れた日にコツゼンとして料理の講習会が開かれたとしても焼石に水であり、年の始めに家計簿の斡旋が行われても役に立つものでない。

野菜のたき方も、野菜の食べ方も指導する恒久的な指導機関を設けるべきであり、家計簿も斡旋だけでなく、つけるように一回だけでなく何回もくり返し全員がつけるまで指導さるべきであろう。

我々は誇るべき炭婦協をもつている、企闘の勝利はこの炭婦協に負うべき所が大きい。

婦人が組合運動に重大な関心を払いつゝある事はよい事である。だから炭婦協が今回の炭労大会に七名のオブザーバーを出席させた事も結構である。大いにやつてもらいたい。しかしその費用にあてらるべき幾分でも生活合理化の恒久的対策の為に使つたとしたら尚結構であつたかも知れない。

炭婦協は組合員の台所を守る為に組合運動においても中核であり、生活合理化の為にも中核である。それは車の両輪の如きものである。炭婦協発展の為に希む。

本所　中村

# これが民主警察？

## 毆る蹴るで被疑者を發狂さす

## 警官暴行事件第一回の公判

一部既報＝宮浦鉱撰炭工古賀一氏の長男同鉱仕繰工至君（一九才）が昨年七月廿七日夜十一時頃諏訪橋の上で三川町五丁目金映パチンコ従業員小島利江さん（一八才）と出合い、立話をして居るうちにいさかいをやつて居るところを大牟田市警三川地区警ら隊に見とがめられ暴行容疑で連行、当直の四巡査から殴る蹴るの暴行を受けて全身数ケ所に傷を負い川尻町の運尾病院に入院療中だつたが〃口惜しい残念だ〃と云い続けて居るうちにその時受けた肉体的精神的ショックがもとで遂に発狂状態に陥つたと云う事件があり、民主警察にあるまじき非行として父一氏は地検大牟田支部に四巡査を告訴したが同支部は何故かこれをとり上げなかつた。そこで古賀氏は福岡法務局に実状を具陳、厳しく検察側の怠慢を衝いた結果地検で捜査に乗り出し当直四巡査のうち西田元巡査を特別公務員暴行容疑で起訴（他の三巡査は不起訴）その第一回公判が廿三日午前十一時から地裁大牟田支部で鍛冶裁判長係り地検松本検事、副島弁護人出席してひらかれた。型通り人定尋問起訴状朗読があつてのち被告の冒頭陳述に入り西田元巡査は「古賀が暴れたので鎮めるためにやつた事で悪意はなかつた」と述べ、引続き副島弁護人も被告の正当性を主張、本事案は特別公務員暴行容疑ではなく単純暴行容疑だと罪名罰条を否定し次回公判に証人として運尾医師、当直巡査三名　至君の叔父古賀利一氏の五名を召喚するよう請求、検察側もこれを了承して十一時四〇分閉廷、次回は三月八日開廷されるが、さらでだに警察、検察ファッショの擡頭が憂慮されて居る折柄現職警官により行われた鬼畜のような暴行と、更に地検大牟田支部がことさらに告訴状をとり上げようとしなかつた奇怪な態度は山ノ上事件、勝立置店事件のそれと引きくらべて納得のいかない事ばかりであり、大地評としても問題を重視して徹底的に究明する方針を固めて居る。因みに被害者至君はおとなしい真面目な青年で、その勤務態度と共に部内や知友間に定評がある。一方西田元巡査（昨冬依願退職）に対しては市警全署員が弁護費用にと給料差引きで十万円をカンパして支援して居り、井村署長は「なぐつた位で気が狂うとは一寸考えられぬ」と記者団に語つて居る事からしても殴る蹴るは最早当り前みたいに考えて居るのではないかとその心情が疑われ、われわれはかゝる人権を無視した警察の暴力化を飽くまでも指弾しなければならない。

# 通氣が優勝

## 三川の驛傳競走

三川の部内対抗駅伝競走は雨空を衝いて十七日午前九時から新港、小浜、万田　緑ケ丘、原万田、西

# 會場清掃も全員 力をあわせて

## 岩津炭婦協の初總會

製作支部岩津社宅炭婦協では、本年度の闘争を一段と固むべく初総会の時期を待つていたが、炭労大会が終了し賃金闘争の闘う方針が決定したのを機に上京者の帰山を待つて一月十八日総会を全員出席のもとに開いた。

当日は炭婦協全員の清掃によつて日頃どうかと思われる集会所も見違える程立派になり、仮の床の間が設置され生花を一段と生き立たせ、組織総点検にふさわしい会場で開かれた。冒頭津村会長から昨年度企闘の終結まで会員各位の努力に対する感謝と、本年度に於ける闘争の困難性と一段の協力要請の挨拶があり、次に中原教宣部長から炭労大会の経過の簡単な説明を行い、今後の賃金闘争は大衆闘争を盛り上げる事こそ勝利の鍵である事を強調した。終了後さゝやかな中食を全員共に行い、日頃の生活苦も忘れて終日歌に踊りに和かな空気で総会を有意義に終つた。

# 大浦が優勝

## 宮浦

宮浦の駅伝競走は十七日三池ー草木ー倉永ー銀水ー大牟田駅前ー桜町ー勝立周回廿七・五キロのコースで八チーム参加して挙行、折悪しく雨天で選手は悪路に悩んだが元気一杯力走を続け、結局大浦チームが昨年の優勝チーム電気を約千五百米離して堂々制勝（タイム一時間四十三分十四秒）以下電気坑外現業、起業の順となつた。尚区間賞も六区以外は全部大浦が占めるところとなつた。

# 職場チーム強し

## 四山

四山の駅伝は廿二チーム参加して廿四日午前十時半グラウンドをスタート、荒尾の産業道路をひた走りに野原、府本を経て籠町社宅に至り宮内、大平を廻つてゴールに至る廿六・四キロのコースで行われ、近藤、荒木を主軸とする職場チームが前年の覇者採炭ハ方を五分も引離して優勝を遂げた。惜しまれたのは二卸チームで、重鎮兼行懸命の力走も及ばず六着に止みまたテール・エンド（最後尾）廿二着の内運も全選手少しも悪びれず最後まで敢走、沿道に立並ぶ応援団から旺んな拍手と声援がおくられた。順位左の通り

①職場　②採炭ハ方　③二昇　④カツペ採炭　⑤採炭イ方

# 建設A、資材を降し制覇

## （本所）

本所の駅伝は建設A、B、機械、総務、電気、資材参加挙行、建設A断然強く全区間を通じてトップを保持、資材は五区まで電気に先を越されて苦戦したが六区以後宮原、猿渡の力走でようやくこれを抜いて二位に入り、以下電気、建設B、機械、総務の順となつた。区間賞左の通り

一区＝大石（建A）二区＝金子（同）三区＝山崎（資材）四区＝松村、五区＝西（総務）六区＝宮原（資材）七区＝福田（建A）八区＝猿渡（資材）

# 惜しまれる渡瀬の逸勝

## （三作）

去る廿四日、柳河廻り廿七・三キロのコースで行われた製作所の駅伝競走は参加十チームが鎬をけずつて激戦の結果、鍛冶が二時間十九分四十四秒で優勝、僅少の差で渡瀬工場がこれに次ぎ以下工業学校、第二製罐、鋳物の順となつた。区間賞左の通り

一区＝池田（工業）二区＝本田（鍛）三区＝松尾（同）四区＝森（渡）五区＝前田（第二）六区＝前原（鍛）七区＝坂口（渡）八区＝平川（工業）九区＝桑野（渡）十区＝山本（鍛）

# わたし達の〃夜あけ〃

## 朝日ケ丘炭婦協が機關紙發行

朝日ケ丘炭婦協が今度機関紙「夜あけ」の創刊号を出した。ガリ版八頁、差当つては月刊の予定であるが炭婦協の機関紙としては勿論これが初めて、原紙も会員が手わけして切り、論説あり、感想あり文藝ありと云つた調子で中々立派なもの、分会長石河あや子さんは編集後記で、

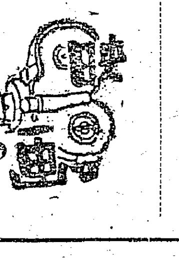
機関紙は誰のものでもなく私達炭婦協のものであつて、まだ他分会には出来て居ないのです。朝日ケ丘炭婦協が三鉱のトップを切つて作る事が出来たのも組合執行部の方始め勝立商店の有志の人達の御後援のおかげだと厚く感謝して居ります。

中略

私達のまわりにはまだまだ沢山の問題が残されて居ます。御気付きの点はどしどし御投稿下さい。手をとり合つて住みよい社会、また社宅を作りましよう。

と述べている。

# 蠻地の太陽



アフリカのベルギイ領コンゴーの奥地にくり展げられる、ただ一人の白人の健気な女医をめぐる冒険とロマンスで、ロケによるコンゴー奥地の珍らしい土人の風俗、習慣、風物などが美しい色彩によつて再現される。

製作は「五本の指」のオットー・ラングで、ルイズ・A・スタイントーフの小説「白人のまじない師」をイヴアン・ゴフとベン・ロバーツが協同脚色し「ナイアガラ」「人生模様」（第二話）のヘンリイ・ハサウエイが監督。主演はスーザン・ヘイワード、「ママの青春」「零号作戦」のロバート・ミッチャムで、「検察官閣下」のウオルター・スレザク、その他現地の黒人が出演しているが、これら黒人たちの演技は見事である。

# 濃施地域分会の兒童作品展

三作支部濃施地域分会（分会長山下龍孝氏）では去る十七、十八の両日児童作品展を開催、図画四八点、書き方三八点、作文五篇の応募があり綜合審査の結果左の入賞者を決定、十七日賞品授与を行つた。

| | |
|---|---|
| 一等 | 金丸きわ子 |
| 二等 | 梅津とも子 |
| 三等 | 上田　寛俊 |
| 四等 | 銀屋　洋子 |

# 共済会統合で金庫室を新設

## 車庫も三月竣成

組合も企業整備や希望退職で、組合員数も一月二十五日現在で、宮浦三・三五四名、四山二・七八九名、三川五・〇〇〇名、本所二・四一一名、港務一・三一二名、製作一・五八四名、計一六・四五〇名になつているが、組合運動はより活発になさねばならない。今度共済会の統合が組合の方針として打出され、事務所内に金庫室が必要となつたのでこれと一緒に今迄物資課の倉庫に格納していたニュース・カーを、早急な出動に間に合わせるため、車庫を建設することゝなり、事務所の東側に一〇〇万円の予算（金は特殊公休日の割増＝ニュース・カーを買つた時の金と同じ）で建設することになつた。金庫室は約四坪で一寸した銀行は及びもつかないとのことである。尚完成は三月中旬の予定である。